

東川町からの支援

安心して学ぶ環境が拡大

東川高校は、全道でも数少ない人口増加を続ける東川町と緊密に連携しています。
東川町からは生徒に対しさまざまな支援があり、他にはない条件で学習に専念することができます。
こうした支援を積極的に利用することで、明確な目標を持って自身の進路実現に向けて取り組むことができます。

令和5年度 東川高校への教育支援内容

■成績優秀で大学等に進学する生徒に給付型特別奨学金を支給（最大1,940千円）：R4～R6年度新入生

- 在学時の成績が特に優秀で大学等に進学する生徒（若干名）に返済不要の給付型奨学金を支給
（4年制大学で自宅外生の場合1,940千円＝入学時500千円、2～4年次各480千円）

■大学・短大・専門学校に進学する生徒に給付型奨学金を支給（最大1,000千円）：R4～R6年度新入生

- 大学・短大・専門学校（旭川福祉専門学校以外）に進学する全生徒に返済不要の給付型奨学金を支給

※東川高校の生徒だけ独自に創設する町の奨学金制度

大学・短大・専門学校（旭川福祉専門学校以外）・看護学校等に進学する生徒全員対象

1年次 250千円

2年次以降 自宅外生 年250千円

自宅生 年60千円

留年は認めない、最大支給期間は4ヵ年、休学時は支給停止、退学時は要返還

■旭川福祉専門学校特待生生徒の拡充（1,119千円／年～880千円／年 支給）：R4～R8年度の新入生

- こども学科・介護福祉科・医薬福祉学科に進学する全生徒の校納金を支給（免除）
（卒業と同時に幼稚園教諭・保育士・介護福祉士の取得が可能です。）

■海外交流都市等への短期留学の実施

- 東川町と交流のある東欧のラトビア、北米のカナダ、東アジアの台湾、ロシアのサハリンの4つの国や地域へ、各2名
約2週間程度（留学先によって異なります）の短期留学プログラムを実施（経費は町が負担します）。

※新型コロナウイルス感染症の状況をはじめ社会的な情勢により、実施方法が変更または中止となる場合があります。

■英語教育の充実

- 東川町教育委員会より英語A L Tを高校の専任として配置、本校英語教諭とティームティーチングの授業を実施しています。

■福祉教育の一層の充実を支援

- 1年生全員で取り組む「全身性障害者移動介護従事者養成研修（通称：ガイドヘルパー）」

講座テキスト代の補助（一人あたり約2,600円）

講師料無料（講師のボランティア）

- ガイドヘルパー取得後、希望する生徒が受講する「介護職員初任者研修講座」

受講料の全額補助（一人あたり約86,000円）

■各種検定受験料の半額補助

- 進学・就職に有利となる商業科目・英語検定・漢字検定等、東川高校で受験を奨励している検定の受験料半額を補助します。

■一人ひとりの進路のための支援・補助

- 外部予備校等の夏期・冬期講習などの短期講座参加者の受講料半額補助

- 大学・短大・看護・公務員受験に向けた模擬試験代の半額補助

■部活動の活動支援

- 吹奏楽部やクロスカントリースキー部、女子バスケット部等、部活動費の補助を行います。

■タブレット端末の無償貸与

国の「GIGAスクール構想」により、令和4年度入学生から、ご家庭で1人1台のタブレット端末（キーボード付き）を準備（購入）していただくことになっていますが、東川高校では、東川町からの支援により、無償でタブレットを入学者全員に貸与します。



入学者全員にタブレット（Chromebook）を無償で貸与します

※ご家庭における通信環境の整備については、自己負担となります。詳しくは、合格発表時に改めてお知らせいたします。

■公設塾「学び舎 ひがしかわ」の開設

- 東川町が設置運営する公設塾「学び舎 ひがしかわ」を町民料金で利用できます。

①進路相談・ワークショップ・自習室利用

1,000円／月

②個別指導6コマ／週・進路相談・ワークショップ・自習室利用

3,000円／月

③個別指導12コマ／週・進路相談・ワークショップ・自習室利用

6,000円／月

※塾登録者は入塾と同時にリクルート社の「スタディサプリ」を無料で利用できます。

※令和4年6月1日現在の支援内容です。今後若干変更になる場合があります。